

地震発生時における対応について

【登校前に地震が発生した場合】

- 「震度4」以上の地震が南丹市で発生した場合、登校を見合わせ「自宅（または安全な場所）待機」とします。「自宅待機」となった場合は、その後の連絡があるまで、自宅もしくは安全な場所で待機します。
- 上記の場合、被害状況や通学路等の安全が確認できれば、授業を行います。
- 「震度5弱」以上の場合は、原則「臨時休校」とします。

【登下校中に地震が発生した場合】

- 登下校中に、大きな揺れを感じる地震が発生した場合、最寄りのより安全な場所で身を守り、揺れが落ち着いたら「学校」か「自宅」のいずれか、より近いまたはより安全と思われる方に避難します。（学校にて指導します）
- バスに乗車中の時は、運転手さんの指示に従い、車内もしくは安全な場所に避難します。

【学校で地震が発生した場合】

- 教職員の指示により、校内の安全な場所に避難し待機します。その後、安全が確認できれば授業を行います。
- 「震度5弱」以上かつ教育活動の継続が困難と判断される場合は、保護者にお子様の引き渡しをお願いします。※通信被害によって連絡できない場合があります。その際、学校から連絡がなくても、お迎えをお願いします。
- 「震度4」以下の場合でも、児童の安全を第一に考え、被害の状況によっては授業を中止し、保護者にお子様の引き渡し等をお願いすることがあります。

【連絡について】

- ◆自宅待機後の連絡及び「児童の引き渡し」等の連絡については、tetoru（テトル）・ホームページでお知らせします。
- ◆「児童の引き渡し」等、特別な対応を行っている場合は、学校への電話がかかりにくい状況が予想されますのでご了承ください。
- ◆地震の被害状況によっては、学校と連絡がとれず、送受信できないことも予想されます。連絡ができない場合は「臨時休校」とします。